

メ ッ セ ー ジ

盛岡市は、恒久平和の実現に向け、すべての国において核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く希求し、非核平和都市であることを宣言し、また、世界各国七千以上の都市で構成され国境を越えて核兵器廃絶を求める「平和首長会議」に加盟しているところです。

戦争のない平和な世界の実現は、全人類共通の願いであり、私たち一人ひとりが国際社会の一員として、世界の人々との信頼関係を築いていくとともに、次の世代に核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぎ、恒久平和を実現するため努力していかなくてはなりません。

この度、核兵器のない平和で公正な世界を実現するため、原水爆禁止二〇二〇年世界大会が開催されますことは、誠に意義深いものがあり、心から敬意を表するとともに、核兵器廃絶と恒久の平和を念願し、メッセージといたします。

令和二年八月二日

盛岡市長 谷 藤 裕 明

原水爆禁止 2020 年世界大会へのメッセージ

「原水爆禁止世界大会」が、核戦争阻止、核兵器廃絶、被爆者援護・連帯の目標を掲げ、国際機関や政府などの広範な代表の参加により行われますことは誠に意義深く、敬意を表する次第です。

平和を願う心は、みんなの願いであります。

当市におきましても「非核平和都市宣言」を決議しており、その中には、ふたたび戦争をしないと誓った日本国憲法の理念のもと、国是である、「持たず・作らず・持ち込ませず」の非核三原則の堅持と、速やかな核兵器の廃絶を求めています。

この願いが全世界に波及されるとともに、この世界大会が「核兵器のない平和で公正な世界」の声を内外にいつそう広げ、より平和で公正な世界の実現につながることを期待してやみません。

皆様のご健闘を心から祈念し、「原水爆禁止 2020 年世界大会」が、成功裡に終了されますことを念願いたします。

令和 2 年 6 月 30 日

一関市長 勝 部 修

原水爆禁止世界大会実行委員会 御中

立夏の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、核兵器廃絶の推進に取り組まれている貴委員会の活動に対し、心から敬意を表します。

このたび開催されます原水爆禁止2020年世界大会につきましては、反核・平和の取り組みをさらに広げる場になるとともに、世界的な核兵器廃絶運動に大きく寄与するものと考えられ、その趣旨に大いに賛同するところであります。

人類共通の念願である世界の恒久平和に向けて、非核三原則が遵守され、未来にわたりすべての国のあらゆる核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く希求し、本市としても関係機関と協力しながら、核兵器廃絶の呼びかけを行っていきたいと考えております。

原水爆禁止2020年世界大会が成功のうちに終わりますことをご祈願いたしまして激励のメッセージといたします。

令和2年6月30日

奥州市長 小 沢 昌 記

原水爆禁止2020年世界大会へのメッセージ

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大と立ち向かいながら、核兵器廃絶を世界に訴えるために、原水爆禁止2020年世界大会をオンラインで開催されますことに心から厚く敬意を表します。

原爆投下から75年を迎えましたが、核兵器のない平和な社会の実現は、人類共通の願いであります。これまで広島・長崎市を中心に、核兵器廃絶を目指して様々な取組みが行われてきました。

花巻市におきましても、平成18年3月に恒久平和の実現に向けて、「非核平和都市」を宣言しており、この宣言の考え方を広く市民に広めるため、小学生を広島市に派遣する「非核平和学習会」や小中学校において非核平和講話や非核平和ポスター展を開催するなど、非核平和の意識の醸成に向けた様々な取組みを行っております。今後もこのような取組みを続けていく所存です。

原水爆禁止2020年世界大会が成功のうちに終わりますことを心から祈念いたしまして、メッセージといたします。

令和2年7月

花巻市長 上 田 東 一

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

原水爆禁止世界大会が、多くの皆様のご賛同により開催されますことに心から敬意を表します。

75年前の8月に広島と長崎に原子爆弾が投下され、瞬時に十数万人の同胞が犠牲になりました。

当市においては、戦争終結間近の昭和20年に2度の熾烈な艦砲射撃を受け、市街地は壊滅的な被害を受けました。

このような戦争の惨禍を再び繰り返すことのないよう、釜石市は昭和34年に平和都市宣言を、昭和61年に非核平和都市宣言を議決し、世界の恒久平和を強く希求しております。

ここに、皆様と共に平和を祈り、市民として健やかに生き、明日の日本のため、そして世界のために心を合せて努力いたしますことは、まことに意義深いものと存じます。

人類共通の願いである世界の恒久平和に向けて、貴実行委員会の今後の更なるご活躍を心から祈念申し上げます。

令和2年8月

釜石市長 野田武則

メッセージ

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

原水爆禁止2020年世界大会が、多くの賛同者の皆様により盛大に開催されますことに心からお祝い申し上げます。

世界の恒久平和は、人類共通の願いであります。

貴実行委員会の平和運動に敬意を表するとともに今後の更なるご活躍をお祈り申し上げ、メッセージといたします。

令和2年7月9日

宮古市長 山本正徳

メッセージ

被爆から七十五年目を迎え、核兵器廃絶を求める動きが世界的に広がる中、原水爆禁止二〇二〇年世界大会が開催されることは、誠に意義深いものがあると存じます。

平和は、世界共通の願いであり、普遍の哲理であります。

世界唯一の核被爆国であり、核兵器の恐怖を身をもって体験した日本は、世界へ向かって「二十一世紀を核兵器のない世紀」とするため、訴え続けていかなければなりません。

本市においても、恒久平和に向けて、あらゆる国の核兵器廃絶と軍縮が推進されることを強く希求しており、非核平和実現のため、たゆまぬご努力を続けられております皆様方に対し、深甚なる敬意を表するものであります。

今大会が成功されますことを、衷心よりご祈念申し上げます。

令和二年七月

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

非核平和宣言都市

岩手県大船渡市長 戸田 公明

原水爆禁止2020年世界大会実行委員会 御中

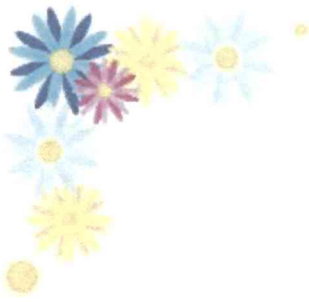
原水爆禁止2020年世界大会の開催、誠におめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症という世界共通の危機に立ち向かうためには、

「平和で公正な世界」の実現が不可欠であります。

核兵器廃絶のため、世界の平和のため、ご尽力されております皆様お一人おひとりのさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

岩手県滝沢市長 主濱 了





この度「原水爆禁止 2020 年世界大会」が開催されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃から、核兵器廃絶・世界平和の実現に向けて、原水爆禁止運動に取り組まれている皆様のご尽力に深く敬意を表します。

日本は唯一の核被爆国として、これまで広島・長崎両市を中心に、核兵器による惨禍が二度と繰り返されることのないよう様々な取り組みが展開されてきました。被爆から75年目を迎えましたが、核兵器のない平和な社会の実現は、人類共通の願いであります。

当市は、非核三原則を遵守すると共に、核兵器の廃絶と、いかなる戦争をも根絶する世界の恒久平和を希求し、昭和60年9月21日に非核平和都市宣言を行っております。

この大会を契機として、国際平和の実現に向けて、世界の核兵器廃絶と軍縮が推進されることを強く切望するとともに、核兵器のない世界への大きな前進となることをご期待申し上げます。

結びに、本大会のご成功と、本日ご参会の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、メッセージといたします。

令和2年8月吉日

陸前高田市長 戸羽 太

原水爆禁止2020年世界大会の開催に賛同し、一言激励のご挨拶を申し上げます。

先ずもって、核兵器廃絶と世界恒久平和を願い、積極的に原水爆禁止世界大会に参加しておられます皆様に対しまして、深く敬意を表します。

本町においては、我が国が唯一の核被爆国としての立場を踏まえ、広島、長崎の惨禍を二度と繰り返してはならないと明記した「非核平和の町宣言」を平成18年9月に町議会の議決を得て、宣言したところであります。

今後におきましても、この宣言のもと、恒久平和を実現することがすべての国民の願いであるとの観点から、人権を尊重しあい、平和を愛する心を育て、人類の絶滅につながる核兵器の廃絶を訴え、地球の平和と安全の確保を希求するとともに、放射能被害の根絶を目指し、自然エネルギーへの転換を求める運動と連帯して参る所存であります。

結びに、この原水爆禁止2020年世界大会に参加される皆様のご奮闘を祈念申し上げますとともに、関係皆様のご尽力に感謝申し上げます、激励のご挨拶といたします。

令和2年6月

岩手県洋野町長 水上 信 宏

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行に際し、原水爆禁止 2020 年世界大会が、新しい条件と可能性を組み尽くして開催されますことに心から敬意を表します。

2020 年、世界は原爆投下から 75 年という節目を迎えました。戦争や核兵器のない平和な世界の実現は、万国共通の願いです。今般の社会情勢により、核不拡散条約 (NPT) 再検討会議は開催延期となってしまいましたが、こうした世界規模の脅威に対し、必要なのは、分断や対立ではなく、国際的共通であると改めて痛感した次第であります。

この世界大会を契機として、多くの方々が核兵器廃絶への思いをさらに深められ、その思いが輪となり大きく広がることを切に願っております。

原水爆禁止 2020 年世界大会が開催目的を達成され、盛会のうちに終了できますことを心からお祈り申し上げます。

令和 2 年 7 月 10 日

岩手県矢巾町長 高橋昌造

岩手県大槌町長メッセージ

原水爆禁止 2020 年世界大会が開催されるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

広島、長崎の原爆投下から 75 年を迎えようとしております。長きにわたり、住民福祉の増進と核兵器廃絶、世界平和実現のためにご尽力されてこられた関係皆様に深く敬意を表します。

当町でも、人類共通の念願である世界の恒久平和に向け、将来ともに非核三原則が遵守され、また、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮が強く推進されることを強く希求し、平成 7 年に「非核平和の町」を宣言しております。

昭和から平成、令和へと時代が移り変わり、戦争体験者が年々減少する中、現代を生きる私たち一人ひとりが、核兵器の恐ろしさと、平和の尊さを次の世代にしつかりと伝えていくことが重要な責務であると考えます。

結びに、原水爆禁止 2020 年世界大会の目的を達成できますこと、また、皆さま方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、私のメッセージとさせていただきます。

令和 2 年 7 月 27 日

岩手県大槌町長 平野公三